

NetSHAKER BlueRack Ver.2.0 (冗長化構成)システムアップデート手順書

安川情報システム株式会社

1. はじめに

1.1. 本書について

本書は、冗長化構成で運用中の *NetSHAKER BlueRack Ver.2.0* (冗長化構成)へのシステムアップデートの手順を記載したものです。

本書の内容は、以下の機種に適用されます。

商品名	型式番号
<i>NetSHAKER BlueRack Ver.2.0</i>	NAHN803Z、NAHN805Z、NAHN890Z

作業にあたりましたは、各製品のマニュアルをご確認の上、作業を実施してください。

NetSHAKER BlueRack Ver.2.0 設定マニュアル

NetSHAKER BlueRack Ver.2.0 冗長化構成設定マニュアル

2. システムアップデート適用手順

2.1. 適用手順

NetSHAKER BlueRack のシステムアップデート適用にあたっては 冗長化構成をいったん無効にして、**2台とも** システムアップデートしていただく必要があります。以下の手順に従ってシステムアップデートを行なってください。



- ご注意

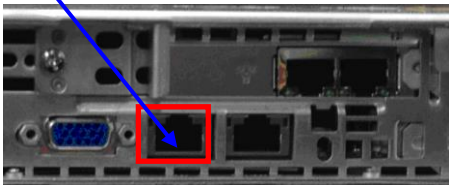
システムアップデート実行中は、メールサービスの停止が必要になります。
運用に問題のない時間帯での実施をお願いいたします。

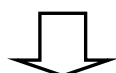
STEP1（スタンバイ側を停止状態にして、アクティブ側のシステムアップデートを完了させます。）

	アクティブ側	スタンバイ側
STEP1－1	・管理画面より、 SMTPサービス:停止に設定 POPサービス:停止に設定 * 「3.2」 参照	
SEEP1－2		・管理画面より、 サーバ本体:電源断(シャットダウン)を実施 * 「3.1」 参照
SEEP1－3	・管理画面より、 冗長化構成:無効に設定 * 「3.3」 参照 ・管理画面より、 サーバ本体:再起動を実施 * 「3.1」 参照	(停止中) 
SEEP1－4	・管理画面より、 システムアップデートを実施 (再起動が実行される場合もあります) * 「3.4」 参照	
SEEP1－5	・管理画面より、 サーバ本体:電源断(シャットダウン)を実施 * 「3.1」 参照	
	アクティブ側・スタンバイ側の両方が停止中となります。	



STEP2（アクティブ側は停止の状態のままで、スタンバイ側のシステムアップデートを完了させます。）

	アクティブ側	スタンバイ側
STEP2-1	(停止中)	・(eth0)側ケーブル:外す  ・サーバ本体:起動(前面のパワーボタン(1)を押す) アクティブ状態で起動されます   ・(eth0)側に クライアントPCを直結し、管理画面への接続を行なう。
SEEP2-2		・管理画面より、 冗長化構成:無効に設定。 * 「3.3」 参照 ・管理画面より、 サーバ本体:再起動を実施 * 「3.1」 参照
SEEP2-3		・管理画面より、 SMTPサービス:停止を確認 POPサービス:停止を確認 (停止になっていない場合は停止してください。) * 「3.2」 参照 ・(eth0)側のクライアントPCと直結していたケーブルを抜き、STEP2-1の最初で外したケーブルをつなぐ
SEEP2-4		・管理画面より、 システムアップデートを実施 (再起動が実行される場合もあります) * 「3.4」 参照
SEEP2-5		・管理画面より、 サーバ本体 電源断(シャットダウン) * 「3.1」 参照
	アクティブ側・スタンバイ側の両方が停止中となります。	



STEP3（冗長化構成の再構築を行います。）

	アクティブ側	スタンバイ側
STEP3-1	・サーバ本体:起動(前面のパワーボタンを押す)	(停止中)
SEEP3-2	・管理画面より、 冗長化構成:有効に設定 * 「3.3」 参照	
SEEP3-3	・管理画面より、 サーバ本体 電源断(シャットダウン)を実施 * 「3.1」 参照	
SEEP3-4	(停止中)	・サーバ本体:起動(前面のパワーボタンを押す)
SEEP3-5		・管理画面より、 冗長化構成:有効を設定 * 「3.3」 参照
SEEP3-6		・管理画面より、 サーバ本体 電源断(シャットダウン)を実施 * 「3.1」 参照
SEEP3-7	・サーバ本体:起動(前面のパワーボタンを押す) (通常より少し時間がかかります) ・管理画面より、 アクティブモニター冗長化構成の状態の 稼動状態:”アクティブ”を確認(*1) * 「3.5」 参照	(停止中)
SEEP3-8		・サーバ本体:起動(前面のパワーボタンを押す) (通常より少し時間がかかります) ・管理画面より、 アクティブモニター冗長化構成の状態の 稼動状態:”スタンバイ”を確認(*1) * 「3.5」 参照
	アクティブ側・スタンバイ側の両方が起動中となります。	



ご注意

(*1) 画面そのままでは自動更新されませんので、[情報の更新]を行なって確認してください。



STEP4（同期処理を行います。）

	アクティブ側	スタンバイ側
STEP4－1	アクティブ側→スタンバイ側への同期処理の完了を待ちます。(*2) [同期完了の確認] アクティブ側の 管理画面で アクティブモニター冗長化構成の状態の 同期状態：“同期が完了しました” となると 同期完了となります。 画面は自動更新されませんので、[情報の更新]を行なって確認してください。	



STEP5（運用を開始します。）

	アクティブ側	スタンバイ側
STEP5－1	・管理画面より、 SMTPサービス:起動を設定 POPサービス:起動を設定 * 「3.2」 参照	



(*2) 同期完了を待たずにSTEP5のサービスの起動を行う場合は、より安全に運用いただくために、“同期完了後にサービスを有効する”という流れで手順を推奨しておりますが、運用上、サービスを長時間停止できない場合には、STEP4の同期完了を待たずに STEP5のサービスを起動することも可能です。

この場合、以下の点にご注意ください。

- (1)アクティブモニターで 冗長化が黄色(同期中)以外は すべて正常な状態であることを確認した後に実行してください。
- (2)同期中は負荷が通常より高い状態となりますので、CPU負荷の状態を監視して、サービスの運用を行なってください。
- (3)同期中(同期完了まで)はスタンバイ機への自動切り替わりは動作しません。

※同期完了には数時間を要します。以下は同期完了までの目安時間です。ディスクの内容やサービスの稼働状態などにより時間は異なります。

基本モデル[NAHN803Z](500GB):約3時間30分程度

基本モデル[NAHN805Z](500GB):約1時間30分程度

大規模モデル(1TB):約3時間程度

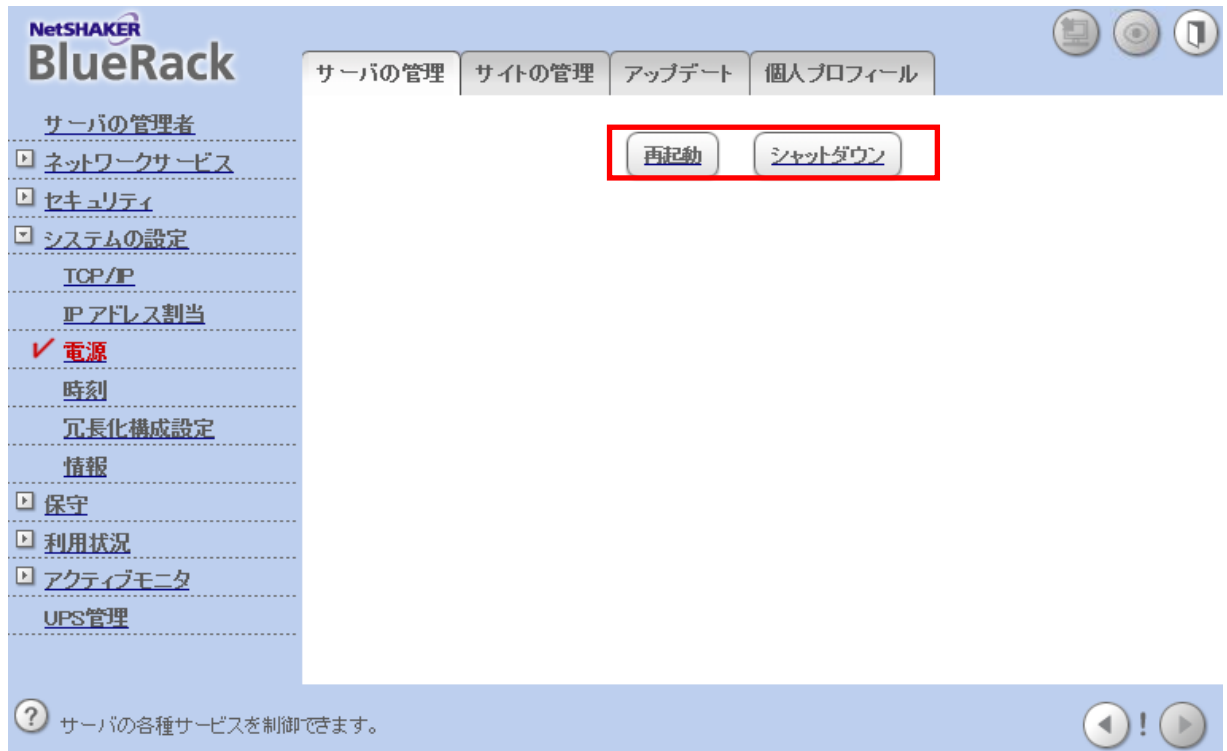
3. 操作詳細

3.1. サーバ本体の再起動・停止(シャットダウン)手順

[サーバの管理] → [システムの設定] → [電源] をクリックします。

「再起動」ボタンを押下すると、「再起動」します。

「シャットダウン」ボタンを押下すると、「サーバが停止(シャットダウン)」します。



3.2. 適用手順 SMTP サービス/POP サービスの起動・停止手順

[サーバの管理] → [ネットワークサービス] → [電子メール] をクリックします。

「SMTPサーバを有効にする」にチェックを付け、[保存]をクリックするとSMTPサービスが“起動”します。

「SMTPサーバを有効にする」にチェックを外し、[保存]をクリックするとSMTPサービスが“停止”します。

「POPサーバを有効にする」にチェックを付け、[保存]をクリックするとPOPサービスが“起動”します。

「POPサーバを有効にする」にチェックを外し、[保存]をクリックするとPOPサービスが“停止”します。



NetSHAKER
BlueRack

サーバの管理者

- ネットワークサービス
- ウェブ
- FTP
- ✓ 電子メール
- DNS
- SNMP
- シェル
- セキュリティ
- システムの設定
- 保守
- 利用状況
- アクティブモニタ
- UPS管理

サーバの管理 | サイトの管理 | アップデート | 個人プロフィール

電子メールサーバの設定

基本 | 詳細

SMTP	
SMTPサーバを有効にする	☒
SMTPサーバ動作ポート	25 (1 - 65,535)
SMTSPサーバを有効にする	☐
SMTSPサーバ動作ポート	465 (1 - 65,535)
IMAP	
IMAPサーバを有効にする	☒
IMAPSサーバを有効にする	☐
最大許容 IMAP 接続数	0 (0 - 4,096)
POP	
POPサーバを有効にする	☒
POPサーバ動作ポート	110 (1 - 65,535)
POPSサーバを有効にする	☐
POPSサーバ動作ポート	995 (1 - 65,535)
最大許容 POP 接続数	0 (0 - 1,024)
POPサーバタイムアウト時間(秒)	120 (30 - 1,800)

保存

? 電子メールサーバを設定できます。

3.3. 冗長化構成の有効・無効の設定手順

[サーバの管理] →「システムの設定」→「冗長化構成設定」メニューをクリックします。

「冗長化構成を有効にする」にチェックを付け、[保存]をクリックすると冗長化が“有効”になります。

「冗長化構成を有効にする」のチェックを外し、[保存]をクリックすると冗長化が“無効”になります。

(冗長化構成設定の反映のためには再起動する必要があります。)

NetSHAKER
BlueRack

サーバの管理者

- ネットワークサービス
- セキュリティ
- システムの設定
 - TCP/IP
 - IP アドレス割当
 - 電源
 - 時刻
 - ✓ 冗長化構成設定
 - 情報
 - 保守
 - 利用状況
 - アクティブモニタ
- UPS管理

サーバの管理 | サイトの管理 | アップデート | 個人プロフィール

冗長化構成の設定

冗長化構成を有効にする	☒
共通IPアドレス	192.168.1.10
相手サーバ	
ホスト名とドメインネーム	secondary . nsk.dom ホスト名 ドメインネーム
データ同期IPアドレス	192.168.220
スタンバイ用SMTPサーバ	
SMTPサーバのアドレス	192.168.1.10
外部装置監視	
監視対象装置のアドレス (省略可)	

保存

冗長化構成設定を変更した場合は、変更を反映させるため、システムを再起動してください。

? 冗長化構成を設定できます。

3.4. システムアップデート手順

[アップデート] → [システムアップデート]をクリックすると、[システムアップデート]テーブルが表示されます。

NetSHAKER BlueRack

サーバの管理 | サイトの管理 | アップデート | 個人プロフィール

✓ システムアップデート
システムアップデート履歴
他社の新規ソフトウェア
他社のアップデート
ソフトウェア一覧
設定

アップデート確認

入手できるアップデートのリスト

	0 エントリ
このリストには、現在のところ何も含まれていません。 「アップデート確認」ボタンをクリックして、アップデートパッケージの確認を行ってください。	

NetSHAKER BlueRack のシステムをアップデートできます。

「アップデート確認」ボタンを押下すると、最新のパッケージ情報が表示されます。アップデート可能なパッケージがある場合は、画面に一覧表示されます。

NetSHAKER BlueRack

サーバの管理 | サイトの管理 | アップデート | 個人プロフィール

✓ システムアップデート
システムアップデート履歴
他社の新規ソフトウェア
他社のアップデート
ソフトウェア一覧
設定

アップデート実行

入手できるアップデートのリスト

			3 エントリ
名前	パッチレベル	コメント	ステータス
XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	-
XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	-
XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	-

アップデート完了後に自動で再起動を行います。

NetSHAKER BlueRack のシステムをアップデートできます。

アップデート可能パッケージが存在する場合に、「アップデート実行」ボタンを押下すると、一覧に表示されているパッケージを適用します。

パッケージが適用された後に、自動的に再起動が行われることがあります。

3.5. アクティブモニタ確認手順

[サーバの管理] → [アクティブモニタ]を選択すると、[アクティブモニタ]画面が表示されます。

「冗長化構成の状態」が緑の場合 : 冗長化構成が“完了”の状態です。

「冗長化構成の状態」が黄色の場合 : 冗長化構成で“同期中”の状態です。

「冗長化構成の状態」が赤色の場合 : 冗長化構成で“データの同期がとれていない”状態です。

「冗長化構成の状態」が灰色の場合 : 冗長化が“無効”になっています。



NetSHAKER
BlueRack

サーバの管理 | サイトの管理 | アップデート | 個人プロフィール

情報の更新

サーバの管理者

- ネットワークサービス
- セキュリティ
- システムの設定
- 保守
- 利用状況
- アクティブモニタ
- 動作状況
- 設定
- UPS管理

システムの動作状況 - 概要

7 エントリ

▼	コンポーネント名 ▼	詳細
●	CPU の使用状況	🔍
●	UPSの状態	🔍
●	ディスクの使用状況	🔍
●	ディスクの整合性	🔍
●	ネットワークの状態	🔍
●	メモリの使用状況	🔍
●	冗長化構成の状態	🔍

サービスの動作状況 - 概要

9 エントリ

▼	コンポーネント名 ▼	詳細
●	DNS サーバ	🔍
●	FTP サーバ	🔍
●	JSP と Servlets	🔍
●	LDAP サーバ	🔍
●	SNMP エージェント	🔍
●	Telnet サーバ	🔍
●	ウェブサーバ	🔍
●	サーバデスクトップ	🔍
●	電子メールサーバ	🔍

色と意味: ● 情報がないため、監視が無効に設定されています。
● 正常に動作中
● 問題発生
● 深刻な問題発生

? アクティブモニタが監視しているシステムコンポーネントの動作状況に関する情報が表示されます。

“冗長化構成の状態”の“詳細(虫めがね)アイコン”を選択すると、「冗長化構成詳細」画面が表示されます。

「冗長化構成に関するシステム状況」で“アクティブ”、“スタンバイ”のどちらで動作しているかを確認できます。

The screenshot displays the NetSHAKER BlueRack management interface. On the left is a sidebar with navigation links: サーバの管理者, ネットワークサービス, セキュリティ, システムの設定, 保守, 利用状況, アクティブモニタ (checked), 動作状況 (highlighted with a red checkmark), 設定, and UPS管理. The main content area has tabs for サーバの管理, サイトの管理, アップデート, and 個人プロフィール. The '冗長化構成システム状態の詳細' (Details of Redundancy Configuration System Status) section shows the current status as 'アクティブで動作しています。' (Operating in Active state) with a green circle icon, and the last check time as '2015/6/9 11:45'. Below this, the '冗長化構成に関するシステム状況' (System Status Regarding Redundancy Configuration) section is highlighted with a red box. It contains three rows: '稼働状態' (Operational Status) with the value 'アクティブで動作しています。', '相手サーバ' (Peer Server) with '相手サーバは起動中です。', and '同期状態' (Sync Status) with '同期が完了しました。'. At the bottom, the '前回フェールオーバーの詳細' (Details of Last Failover) section is partially visible. A footer bar contains a help icon and the text 'アクティブモニタが監視しているシステムコンポーネントの動作状況に関する情報が表示されます。' (Information about the operating status of system components monitored by the Active Monitor is displayed.)

冗長化構成システム状態の詳細	
現在の動作状況	● 冗長化構成機能は正しく動作しています。
最後に動作状況を確認した時刻	2015/6/9 11:45

冗長化構成に関するシステム状況	
稼働状態	アクティブで動作しています。
相手サーバ	相手サーバは起動中です。
同期状態	同期が完了しました。

前回フェールオーバーの詳細	
前回フェールオーバーした原因	
前回フェールオーバーした時刻	